琉球大学学術リポジトリ

大和歌集

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2021-09-08 キーワード (Ja): 所収コレクション：琉球大学附属図書館宮良殿内文庫, 宮良殿内（みやらどぅんち） キーワード (En): In Collection: The Miyara-Dounchi Collection (University of the Ryukyus Library) 作成者: -, 2021/9/8 16:10 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/49125

大和歌集

用紙二拾枚當恭

當歲拾四五　宮良恵

西表首里大屋二十嫡子兼恵

松茂姓

大清道光二十七年丁未四月吉祥日調之

其小神宮のてきりたし樂々の
心中

一 波和田猶のほんと縄大い山なる
鬼神のかいな切て不想立立
心中

一 波次は二八鶴ゆて君は失濟て命ち
うまとし谷をハ末代ありし心中

一 波源は新光ハ大江山なる鬼神の對し
それを序てそれ見れ心中

一 いかしく日関八鶴にて源ハ平敷

世を生てかいくいこそし爲て年歳
如何申

一 曾祖の十郎祐成をこそ深て
おいそかなくかしこさ人まで是ある
何申

一 彼乃弟くのたくのかはしや成
経くたまけんたあまく花のかたの
さ引けり何申

一 鷹屋の姫龍在代はまて留りて
松夫詩てうしれ思つるあやうな

一 皮け石はさゝ心まゝはまゝ此れしゝ
四鹿次郎さんとあけて取りて
取り申し四十

一 指三郎ハ此壹姫ハ廉成くるせし
それはさよ人くとハ取うとて

はく四十

六十郎

一 四海渡風浪事御代く落と龍とう
三乗抱ハ

一 よし此ハ若君ハ此けハ如せく

桜ちりかゝる

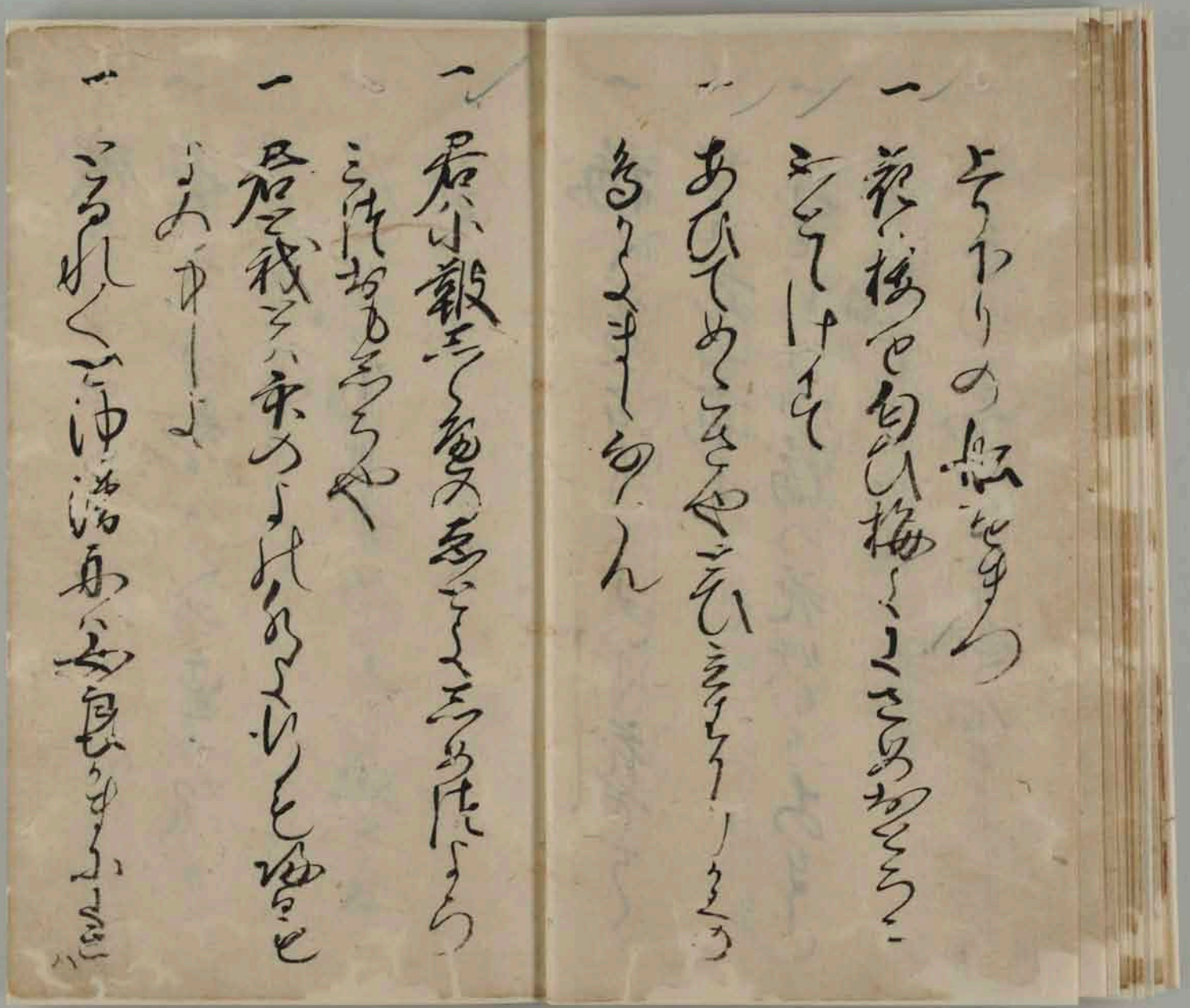
一 花のさかれは三月四日にしるさ
けの三節なる

一 そしはちんくさ月をうち桜
月をなかめる所よめる

一 梅く鶯ことり人よいく花をちら
せる家の毒よ

一 遠り渡梅の花咲かちあまし
三人風むまさるしんさ

一 うさの鶯かくちゝ花まちなく



とりかりの船をまつ

一 花は梅を匂ひ梅よくさめおそろこ
こそけれ

一 あひてめてきやこひこそりしかの
多りくましかん

一 君小鞍にて魚の志こそ志め法よろ
こ法おもしろや

一 君は我にハ来のよれのよりも増也
よのかしよ

一 こゝれくご沖潜身は女良かまふ志

たんさこり愛

一 はしやすさこのしかしたれ
よくおもそをりちをのまゝ

夕肩ひ

一 夕肩ひ東海の雲ふり 今松乃

一 雲ゝ雲風を吹く
霞め立東海のまゝ山不のくと波
離すゝり雲の雲く

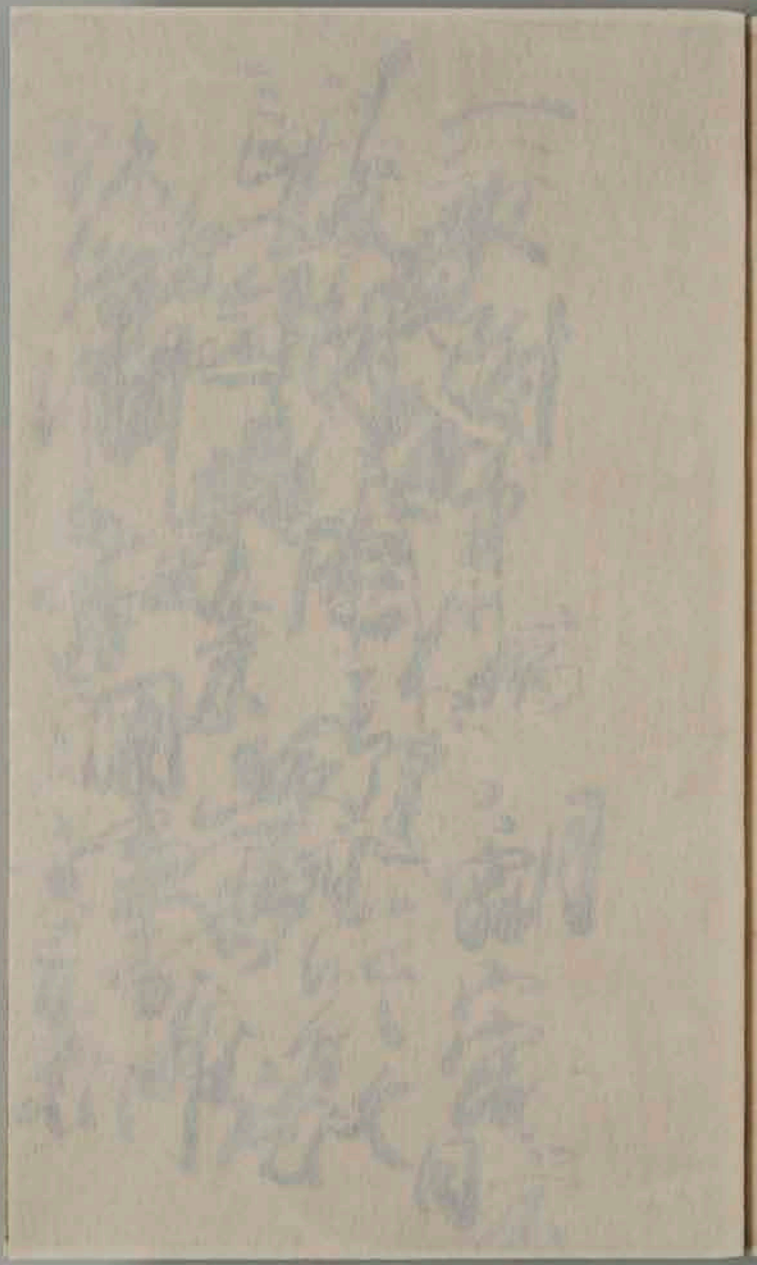
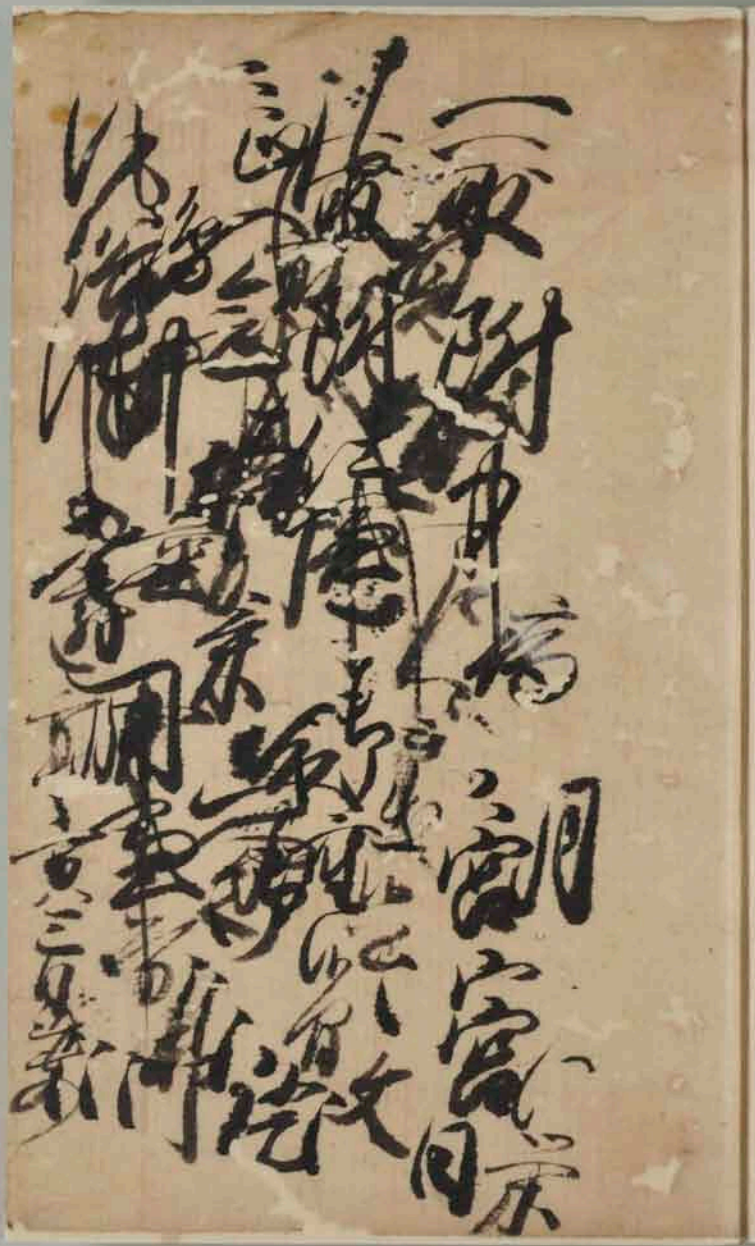
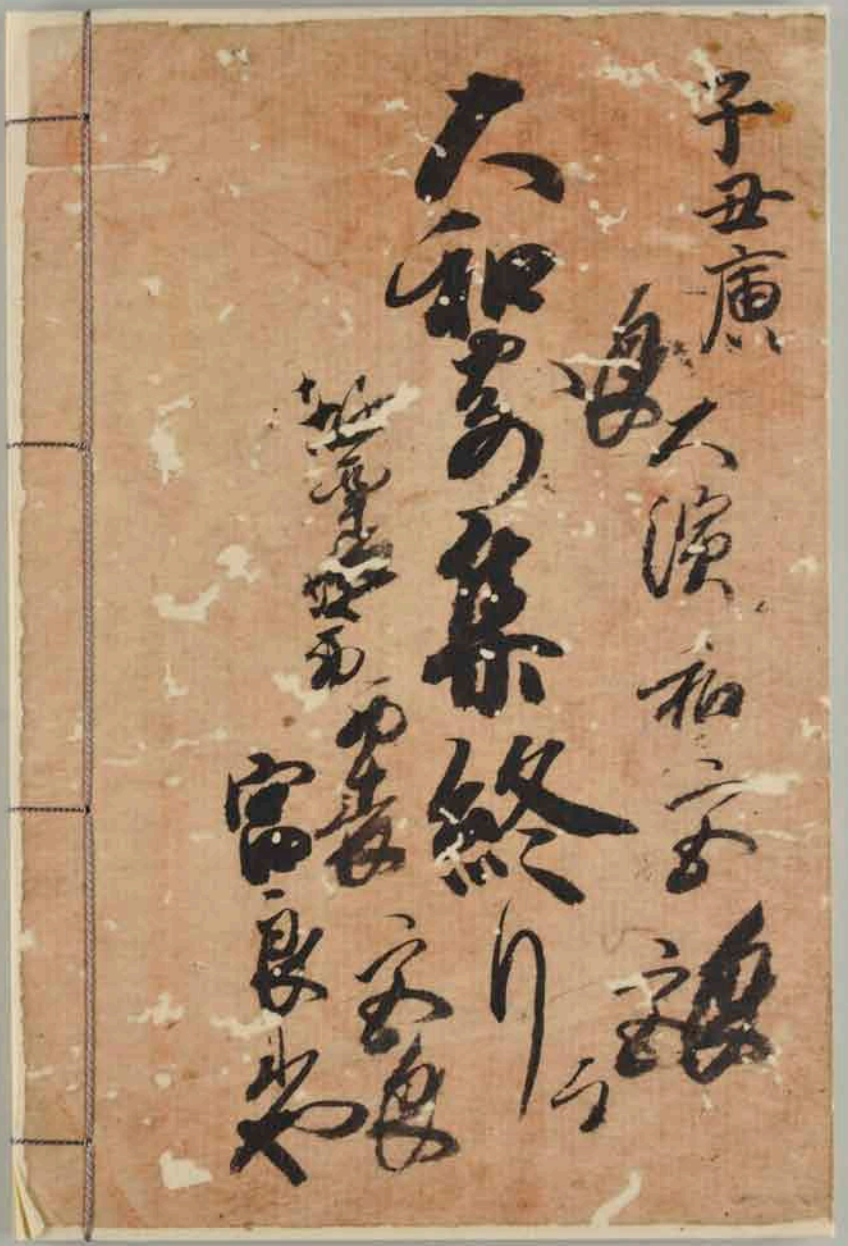
一 鬼はこせるをふの阿ゝらこゝり
かけて風ゝゆゝまゝ春柳の急く

一 三よのおく雲の比まよりむれ油し
静りとあるこの世にいはあの面こう
いせかいしたしこのおりおいてのきれ
の梅鶯は花をちらしてあきつこ
しる意をせをんの詩のうらきこく

一 神ふるのむかしおそこくうへ
て雲は風雲のうよいち頃ちよおそ
めのさとりこてめにしかせの風こ
のむかりそおりかし花のかれきの
うそてをにふまてまひおそ

一 おしいたさうしとことゝたに一こひたり
祢た者か無とくこ
てつ志らふしー
一 めてたくこよ若まの様よ枝も
さうひて家しせけるく

一 様ハ百迄ニ一ツや九倍九ヲ付 さもこ
白髪のまゝる迄く
一 と言ひしてうへの道ゆて言
ちやつこくるく
一 様ニ家ちい度ひうんさくらていと

さくらあいけんを見ふ事せ云く
かきこぞんをこゝろちれやを
一 枕せなく思ますしそ也て枕けみはさみ云んまくしてさとしんゥ
そきのせてまくら

一 ことれせなぐ歌ゆゑしせぢう
せりしいきみはうせそこまゑ
覚ひぢなりしやそけそ